

# なでしこ決勝トーナメントへ

## 下野新聞

しもつけ  
発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒330-8686  
下野新聞社  
電話 028-625-1111  
郵便振替口座 00180-1-623433  
©下野新聞社 2015

## 電子号外

下野新聞購読お申し込みは  
ダイヤル 0120-810081

携帯で、スマホで紙木のニュースを!!  
下野新聞 SOON  
月額 250円+税  
下野新聞 検索



日本・カメルーン 前半、攻め込む鮫島(バンクーバー)

# 鮫島先制ゴール

## カメルーンに2-1

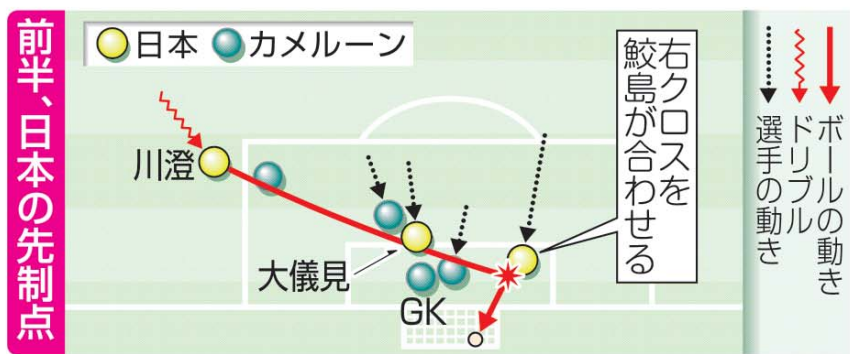
### 1次リーグ連勝



【バンクーバー(カナダ)共同】サッカーの女子ワールドカップ(W杯)カナダ大会で2連覇を狙う日本代表「なでしこジャパン」は12日、バンクーバーで行われた1次リーグC組の第2戦でカメルーンを2-1で下した。2連勝で同組2位以内が確定し、決勝トーナメント進出一番乗りを決めた。

日本は前半に鮫島彩(宇都宮市出身、INAC神戸)と菅沢優衣香(千葉)が得点。終了間際に失点したが、逃げ切った。

日本は16日(日本時間17日)に1次リーグ最終戦でエクアドルと対戦し、C組1位を狙う。16チームによる決勝トーナメントは20日



【同21日】に始まり、決勝は7月5日(同6日)にバンクーバーで行われる。

【1次リーグ】  
C組  
日本 2勝 2(0-1)0  
カメルーン 1勝 1(0-1)0  
3敗

▽得点者【巨 鮫島、菅沢】カヌシュット

【評】日本はサイドから攻略し、序盤に得点を重ねた。前半6分、川澄からの右折り返しを遠いサイドで鮫島が決めて先制。同17分には宮間の左クロスが菅沢が頭で合わせた。パスをつないで時間を進めた後半は積極性を欠いて無得点。終盤は相手の縦に速い攻撃に押し込まれ、試合終了間際にカウンターから失点。その後も相手に好機を許したが、逃げ切った。

宮間の話 得点を流れながらもセットプレーからも取れたし、失点も最少だったのは良かった。途中から相手に良さをさせてしまった。課題として前向きに捉えて次の準備をしたい。とにかく1位で1次リーグを突破したい。

鮫島の話 右サイドをうまく崩せて、触れば入るゴールだった。うまく決められてよかった。勝ち点を積み上げられたことは良かったが、失点シーンを含めて課題は多い。

佐々木則夫・日本女子代表監督の話 立ち上がり両サイドがチャンスをつくって得点したのが大きい。後半の試合の運び方は考えないといけない。最後に慌てさせられた。反省したい。修正して次のステップに進みたい。